

候補校申請のために、学校が踏むステップ

- a. IB導入が可能か調査を行う人員を選定。グループには異なった学問分野の専門 教員、学校の経営陣のいずれか、および財務責任者が入っていると良い。
- b. 「IBの理念」「IBの学習者像」を検討し、自校の理念がIBのものに近似しているかどうかの検証。建学の趣旨および教育に対する貢献の独自性に関わる問題であり、これは学校にとって最も重要な決定となる。
- c. 校長または指定代理人がIBカテゴリー1ワークショップに参加し、IBプログラムと認定プロセスを理解すること。十分な情報を得たうえで将来IBプログラムを実施するかどうか判断するには、なるべく早い段階でIBの各種教員研修活動に参加することが望ましい。
- d. 学校の法的位置づけについて確認する。
- e. IBプログラムがどのように構成されているかを検討・研究する。
- f. プログラムのスターターパックその他追加書類を購入し、熟読する。
- g. 『プログラムの基準と実践要綱』の分析、その他個別のIBプログラム認定要件について検討する。
- h. IBプログラムへの長期的な取組みを担保するために国際バカロレアがIBワールドスクールに求める責任について、それを完全に満たすことが可能かをよく検討する。
- i. IBの求める期待像と対比させ、学校の現状を分析する。
- j. IBプログラムを実施することに決定した場合、IBの期待像に学校を合わせIBプログラムを長期的に継続するために必要な人的・物的資源や財源について、IBの求める期待像と対比させ、学校の現状を分析する。
- k. IBの期待像に学校を合わせるまでに要するおおよその期間を算出する。
- l. IBプログラムを実施するにあたり、学校および学校関係者のコミュニティにとっての利点検証を行う。
- m. IBプログラム採否の最終判断を下す。IBプログラムの実施を決定し、認定プロセスに入る場合、学校関係者コミュニティからのサポートを得るべく活動し、どのようなリソースがあるかを確認、IB公認の教員研修活動にスタッフを派遣するなど、IBプログラムのコーディネーターを選定する。